

第1回まちあるき（北国街道コース）参加レポート

開志専門職大学 高杉菜々子

このたび、東区 E 産探求プロジェクト事業「第1回まちあるき（北国街道コース）」に学生記者として参加しました。当日は歩きながら楽しく歴史を学び、これまで気づかなかった東区の魅力を新たに発見することができました。その様子をレポートします。

今回のまちあるきでは、かつて新潟と北陸・関東方面を結んでいた歴史ある街道「北国街道」を辿りながら、沿道のスポットを巡りました。北国街道は、江戸時代に物流や人の往来を支えた重要な道として栄え、今も当時の面影を残しています。私たちはその中でも、沼垂地域と河渡・松ヶ崎地域を中心に歩き、地域に残る歴史や文化を体感しました。

私自身、新潟市出身ということもあり、東区は以前からよく訪れている馴染みのある地域です。特に沼垂地域は、学生時代の通学路があり、毎日のように歩いていた思い出の場所でもあります。

今回のまちあるきでは、その通学路付近を久しぶりに歩くことができ、懐かしい気持ちに浸りました。当時は何気なく通り過ぎていた場所や、一度も訪れたことのなかった場所が多く、「こんな場所があったのか！」と新たな発見の連続でした。その中でも、印象的だった場所を紹介します。

1. JR 信越本線跡



写真①、②（JR 信越本線跡と踏切番詰所跡）

新潟駅の開業による旅客激減と、石油精製の終了に伴い列車の運行を停止したことから、沼垂駅は廃止されました。

時の流れを感じさせるレトロな雰囲気の中にも、どこか人のぬくもりが残っているようで、不思議な感覚に包まれました。間近で廃線跡を見たのは初めてでしたが、今でも電車が通りそうな生き生きとした印象を受けました。

2. 沼垂テラス商店街



写真③（沼垂テラス商店街）

かつて青果市場だった長屋をリノベーションし、新たに商店街としてオープンした場所です。ノスタルジックな建物と現代的なデザインが融合しており、歩くだけで新鮮な気持ちになりました。商店街の落ち着いた雰囲気と温かみは、中心街とは異なる魅力があり、とても心地よく感じました。また、若い人の姿も見られ、地域の活気につながっていると感じました。

3. 藤戸神社



写真④（藤戸神社）

藤戸神社は鎌倉時代初期に創建された歴史ある神社です。木造の社殿と、全国的にも珍しい煉瓦造りの門構えが見どころで、源義経一行にまつわる伝説も残されています。煉瓦造りの門構えと神社の調和が美しく、広く知られるべき名所だと感じました。

参加してみての感想

今回のまちあるきを通して、東区の名所を知るととても良い機会になりました。今まで知らずに通り過ぎていた場所ばかりで、少しもったいない気持ちになりましたが、こうして知ることができて本当に良かったです。歩いていると「エモーショナル！」と感じる場面もあり、思わず写真を撮りたくなる場所がたくさんありました。今まで通学路としてしか見ていなかった沼垂地域も、今回のまちあるきを通して名所を巡るルートだと改めて認識することができました。河渡・松崎地域には、買い物で訪れることはありましたが、神社やお寺の多さや地形の高低差などは知らなかったもので、知人にも教えたいと思いました。また、普段何気なく歩いている道にも、それぞれの歴史があることに気づかされました。今後は、歴史という視点を持って歩くことで、新たな発見や、見慣れた風景に新鮮さを感じられると思います。東区のことをより深く知り、歩く視点を広げられた、とても有意義な時間になりました。みなさんもぜひ、東区でまちあるきを体験してみませんか？